

市民のみなさんと議会をつなぐ

だいとうし 議会だより

2023年 5 月



3月定例会議会号 No.115



撮影：だいとう写遊会

だいとうパークスタイル2023

本市には約150か所の公園等が存在し、市内の都市公園において「多くの人が集まり、楽しみ、チャレンジできる環境を創出」することの実現に向けた実証実験を令和4年度から末広公園で行い、その実証実験の取組みが集結したメインイベントとして開催されました。

大東市議会公式SNSはこちらからアクセスできます！



もくじ

3月定例会議会のあらまし	2～3
代表質問	4～6
市議会レポート	6
一般質問	7～10
一般質問項目／議会活動日誌	11
議案の審議結果	最終ページ

次の定例会議会の開催予定日です

本会議は市議会ホームページからライブ中継でご覧になれます

6月 1日(木)	本会議(議案上程・委員会付託)
	予算決算委員会(前期全体会)
12日(月)	未来づくり委員会
13日(火)	予算決算委員会(未来づくり分科会)
15日(木)	街づくり委員会
16日(金)	予算決算委員会(街づくり分科会)
26日(月)	予算決算委員会(後期全体会)
27日(火)	本会議(一般質問)
28日(水)	本会議(一般質問)
29日(木)	本会議(一般質問・委員長報告・表決)

会議は、原則として午前10時に開会しますが、変更となることがあります。なお、予算決算委員会各分科会は繰り上げて開催する場合があります。また、1日目で終了した場合には、市議会ホームページでご確認になれます。

※ 請願・陳情の受付期限は、5月22日(月)です。

5年度一般会計を修正可決、 7特別会計、2企業会計を可決



令和5年3月定例月議会を2月27日～3月24日に開催し、東坂市長の施政方針が示されたほか、5年度一般会計・各特別会計・企業会計の予算、4年度各会計の補正予算、計画の変更及び条例の一部改正などを審議しました。
また、3月5日には日曜議会を開催し、市長の施政方針に対する各会派の代表質問が行われました。（最終ページに関係記事）

総額893億3717万円の
5年度当初予算を可決

令和5年度予算案を、一般会計については賛成多数で修正可決（3ページに関係記事）、介護保険特別会計については賛成多数で、国民健康保険・交通災害共済事業・火災共済事業・後期高齢者医療保険・2駅周辺整備事業・移管市営住宅事業の6特別会計及び水道事業・下水道事業の2企業会計については賛成全員でそれぞれ可決しました。一般会

計511億9630万円、7特別会計の合計が286億9102万円、2企業会計の合計が94億4985万円となっており、予算総額は前年度（当初ベース）に比べ29億2378万円の増、一般会計は13億195万円の増、特別会計は13億7768万円の増、企業会計は2億4415万円の増となっています。

その主なものは、

●2050年脱炭素社会の実現に向け大東市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を

策定するとともに、現行の第4期大東市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の改訂を行う地球温暖化防止対策事業に1797万円

●4年3月に策定した「北条地域まちづくり第Ⅱ期構想」の実現に向けて、嵯峨園第1、第2住宅の建替えを見据えた各種調査等を実施する北条まちづくり推進事業（Ⅱ期）に4174万円

●指定管理者による市営住宅の入居者サービスの向上や効率的・効率的な管理運営を行

い、安定した住生活を送ることができるよう適切な維持管理を図る移管市営住宅管理経費に1億9588万円

●5年4月診療分より現行どおり所得制限を設けず、医療費助成の対象年齢を15歳年度末から18歳年度末まで拡大する子ども医療助成費に4億5499万円

●全ての妊婦、子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境を整備するため様々なニーズに即した必要な支援に つなぐ伴走型相談支援及び経

済的支援を実施する出産・子育て応援経費に9269万円

●早期発見による健康寿命の向上を図る観点から、胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん等の個別検診・集団検診を実施する。また、受診率向上策として、自己負担金の無料化や個別通知・再勧奨通知など、周知・啓発を強化する各種住民検診事業に1億1758万円

●健康寿命の延伸を目的として、あらゆる機会を捉え、かつ計画的に生活習慣病予防の啓発や支援を行う。また、7年度からの次期大東市健康増進計画及び自殺対策計画の策定に向けて、5年度からの2か年で策定作業を行う健康づくり事業に747万円

●ジェネリック医薬品差額通知作成・発送費用及び糖尿病性腎症重症化予防保健指導委託、第3期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画策定等医療費適正化業務に

係る医療費適正化対策経費に1968万円

●健診結果等から抽出した高齢者に対し、医療専門職がかりつけ医と連携しながら個別に保健指導を行うことで、重症化予防を図る高齢者保健事業と介護予防一体的実施事業に406万円

●市内企業における競争力の維持・強化を図るため、AI等のDX技術の導入を促進し、生産性向上に資する支援を実施する市内企業DX推進事業に1551万円

●野外活動を通じた青少年の健全育成及び豊かで潤いのある市民生活の形成のため野外活動センター及び青少年ルームの管理運営を行う。また、老朽化などの施設の課題を整理しつつ、民間の賃金や改修・運営のノウハウを活用する公民連携手法導入可能性について調査する野外活動センター等管理運営経費に4452万円

●各校のニーズに応じて、多様な外部人材を活用できるよう、人材バンク制度を整備し、教員以外の大人との関係づくりを通じて子どもたちの多様な活動の機会を拡充する。また、部活動の地域移行を段階的に進め、専門的な活動の質的向上を図る。教育環境の安心と安全を目的とした警察OBによる各校訪問により、早期の生徒指導課題解決を図る学校支援事業に3006万円

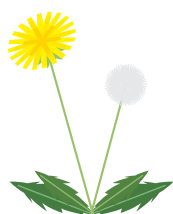
●ICT活用教育を推進するため、ICT活用教育研究及び小学校においてはAI型デジタルドリル、中学校においては双方向のネットワークを活用したプログラミング教材を導入するICT活用教育推進事業に4005万円

●教育委員会に関する事務や、学校公務業務等を円滑に行う。また、5年4月より新設した「教育企画室」において、「(仮称)義務教育学校等の設置に関する基本構想」の策定を進

める教育委員会総務経費(教育総務)に9604万円
などが計上されています。
(金額は1万円未満四捨五入)

5年度一般会計予算に対する委員会の修正案を可決

3月定例会議会上程された令和5年度一般会計予算の一部において、現時点での市の構想が不透明で効果的な業務委託が見込めず、行政の主体性がない予算計上であるとの判断から、都市経営課題を解決する人材育成を目的とした「大東キャンパス構想推進業務」の1000万円を700万円減額、住道地域周辺を含めたまちづくり構想の検討を行う「住道まちづくり推進事業」の500万円を削除する予算決算委員会の修正案を本会議で可決しました。





大東 真司 議員

Q DX推進により労働時間の短縮等の成果が期待されますが、どのように推進しますか。

A DXの推進により市内企業の業務効率化を図り、働き方改革につなげるとともに、必要に応じて大学や商工会議所など各関係機関とも連携を図りながら推進していきます。

Q 新しく示された大東未来キャンパス構想について教えてください。

A すべての人・年代を対象にこれまで培ってきたまちづくり、特に公民連携のノウハウや理念をオープンソースとして広く公開し、そのソースを用いたアイデアを本市で実践してもらい、その実践者やアイデアがつながることにより自立分散型のまちづくりの環境を生み出しさらなる発展をめざすものです。主体的にまちづくりに関わるプ

レイヤーを輩出すること、本市の未来を創る人づくりにつながっていくことをめざしており、その実現を確信しています。

Q 子育て世代の大きな経済的負担を解消する給食費の負担軽減策を恒久的に実施できませんか。

A 学校給食費は原則として保護者による食材料費の負担が前提です。物価高騰対策として臨時的な負担軽減は全国的にも議論されていますが、学校教育における教育的意義からも、国が財政措置をし、安定した取り組みとして実施すべきと認識しています。子育てに対する経済的負担の支援策を念頭に、国に対して早期実現を訴えていきます。



市内中学校で提供している給食(一例)



石垣 直紀 議員

Q インフラ整備の「拡大」が飽和の段階を迎えているとありますが、大阪府と大阪市ではインフラの整備拡充を図っており、本市でも駅周辺整備等を行っています。どのような認識をしていますか。

A 高度経済成長期からインフラや公共施設の整備が急激に進み一定の物的充足が図られた後には、まちづくりにおいても量ではなく質に価値観を求める傾向に変わってきました。ご指摘のように大阪・関西万博前にした大規模な都市開発が大



令和5年2月に自由通路(階段及びエスカレーター)の供用を開始した野崎駅東側

阪市で行われ、本市でも野崎駅・四条畷駅周辺整備を行っています。四角、利便性向上に加え、まちの印象を魅力あるものにするという意識を強く持っています。このようにハード・ソフト両面でまちの付加価値を高めるまちづくりが求められるようになった、その価値観の変遷を表現しています。

Q 千利休の茶の湯に関する記事がありますが、市長の仕事としてマネジメント力が一番重要だと思えます。市長の考えを教えてください。

A 市長に必要な資質としてプライオリティのかなり高い部分にマネジメント力は位置づけられると思います。様々な施策に対する判断等に誤りがあると、組織を負う方向に導くリスクも生まれます。マネジメント力を発揮し、高効率に付加価値の高いものへと導いていく、その判断の道筋を誤らないよう見立て、高いレベルでマネジメント力を実現させることをめざしています。



水落 康一郎 議員

Q JR住道駅周辺は総事業費213億円をかけて昭和54年に完了した再開発事業から44年が経過し、インフラも老朽化しています。一定のハード整備が必要な時期だと思いますが、見解は。

A 令和5年度は、住道地域の特性を生かした街並みの整備と空間を創出し、周辺全体のエリア価値を高めることを目的に、住道まちづくり構想の策定に取り組みます。

Q 市内には製造業同様、多くの運輸・運送業も集積しています。昨今のエネルギー価格の高騰により車両の燃料費負担も厳しい状況です。燃料費補助への見解は。

A 運輸・運送事業者は公的輸送サービスの担い手として国民生活に欠かせない存在です。ウクライナ情勢などで燃料油価

格の上昇が続いており、経費の急騰が経営を圧迫している状況です。国費等の財源を確保した上で国や府の支援が届かない事業者への支援を検討します。



Q 国の施策として電気代・ガス代への補助が行われていますが、LPガスへの補助は対象外です。LPガス利用者への個人補助に対する見解は。

A 本市におけるLPガス利用世帯数は2割以下と推測しています。生活に欠かせないガス・食料品などの物価高騰が長期化することにより、市民の負担感の増大が懸念されることから、引き続き国の支援や経済情勢などの動向を注視しながら、必要な対策について検討します。



北村 哲夫 議員

Q 令和2年4月の選挙広報で示された9つの柱の実現度合いと成果について教えてください。

A 取組みの一部になりますが、GIGAスクール構想の推進、ニューブランドだいたいにおける入学スタートギフト事業の実施など各種子育て支援の充実、地域包括ケアシステム構築の推進、認知症サポーターの増員など福祉の増進、元気でまっせ体操など高齢者の社会参加促進、防災アプリや支援システムの開発、D-Bizを中心とした企業サポート、野崎駅橋上化整備工



ビジネスに関する相談を受ける大東ビジネス創造センターD-Biz(市民会館2階)

事などの都市整備、新田水路や灰塚水路等のインフラ整備、北条まちづくりプロジェクト第1期構想の結実など、これらは皆様のご協力を得ながら現実化してきた成果です。今後も、笑顔を生み出し連鎖させることを信念とし、力強く市政運営を行います。

Q 令和5年4月創設のこども家庭庁に対し、今後の子育て支援拡充に向けて何が期待できますか。

A 子育て支援の充実に向け、①虐待や貧困、不登校など様々な困難を抱える子どもに対し、関係機関等の連携によるアウトリーチ型・伴走型の支援が進むこと。②保育所、幼稚園、認定こども園の一元化に踏み込んだことから、今後は就学前教育・保育の整合性が確保されること。③就学前後の架け橋期における教育の連携強化が進むこと。以上の3点に期待を寄せています。今後も引き続き、豊かな子育て環境の実現に全力で取り組みます。



Q 「市内企業DX推進事業」による事業者への支援とインボイス制度について、市長の考えを教えてください。

A AI等のDX技術を活用し、ものづくり企業が有するノウハウ・技術・強み等の可視化を図り、ものづくりプラットフォームの構築の推進等により市内企業のDX化の推進を支援します。インボイス制度は正確な消費税計算の促進を目的として国税庁が中心となり実施していますが、中小零細企業にとつては大きな重荷になる制度です。市としていかに企業を守っていくかが喫緊の課題であると考え



あらさき 美枝 議員

ています。

Q カジノによる「あふれる笑顔幸せのまちづくり」への悪影響は。

A 大阪府・大阪市を中心に国内外から人・モノ・投資を呼び込み、大阪・関西の持続的な経済成長につなげることを目的に整備が検討されています。本市は関与する立場にないと認識しておりますが、府内自治体として動向の注視が必要だと感じています。

Q ゼロカーボンと原発の関係はどのように考えていますか。

A 国が目標に掲げる2050年二酸化炭素排出ゼロの推進のため、本市においてもゼロカーボンシティ宣言を行うと表明しました。現代の社会生活に不可欠な電力の生産手法の1つである原子力については、さらなる技術の革新と安全対策が必要であると認識しています。本市の持続可能な次世代へ引き継げる社会の実現に向けて取り組みを進めます。



議会市民レポーターの だいとう市議会

議会の存在意義の活用

あまり関心のなかった行政に関し、市議会レポーターになることで、認識を新たにし、行政の中身を監視する事の重要性に気づいた。

「議会の存在意義は、行政を監視し、政策を提言すること」と言われている。その意味でも、市議会の活動をしっかり見ていくことは、重要です。コロナ禍で頑張られた議員さんたちには感謝であり、市議会の今後の活動状況を傍聴、オンライン中継視聴、議会だより等でウォッチしていくことは大事と感じている。

(川中新町 江見慎悟)

令和5年3月 日曜議会を見て

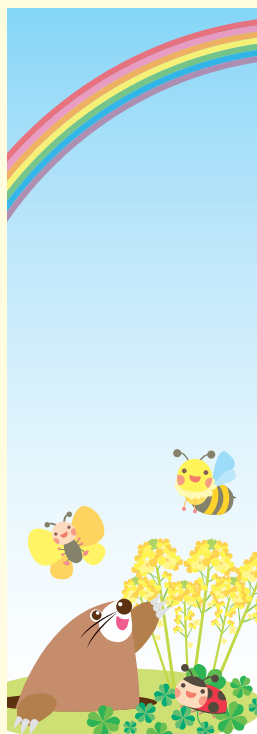
日曜議会をインターネット中継で見ました。

たくさん質問をされるのは良いことだと思います。しかし、私の気持ちとしては、ボソボソと聞き取りづらい声で質問されると意志を感じにくいです。

大東市・市民のために日々尽力されている議員の方々、これからも熱い気持ち、意志をもって頑張ってください。

市議会を傍聴させて頂いて勉強になりました。

(N.K)



一般質問

3月定例会月議会では、13人の議員から一般質問があり、各議員が希望した項目を要約して掲載しています。
なお、各議員の一般質問の主な項目は、11ページ上段に掲載しています。

0歳から2歳児の 保育料無償化についてなど



大束 真司 議員
(公明党議員団)

Q (1) 0歳から2歳児の保育料を無償化できませんか。

A 無償化による保護者の経済的負担の軽減が子育てしやすいまちの実現に寄与するものと十分認識していますが、市独自の財源による負担軽減の実現には長期的な視点に立った財源の確保が不可欠であることから、具体化には十分な検討が必要だと考えています。

Q (2) 全体的な子育て資金無償化の流れを作っていくべきでは。

A 政策全般の中で、やはり子育てには無償の環境が必要だと市民全体から理解が得られるよう努力していきます。

Q (3) 水道、下水道事業にとって

新たな収入となる、下水道マンホールを広告媒体として活用できませんか。

A 下水道事業を取り巻く環境は厳しくなっており、収益確保の観点からも前向きに検討していきたいと考えています。

福祉施設からの給付費等の 請求について



光城 敏雄 議員
(無会派)

Q 厳しいチェックをしてほしいと思いますが、福祉施設からの間違った請求はありますか。

A 介護保険事業については、システムを活用してケアプランの点検や福祉用具貸与の調査等、不適切な給付がないかチェックを行い、随時誤った請求の抽出を行っています。定期的に実施する運営指導の際

にも関係書類を確認し未然防止につなげています。請求誤りが確認された場合は、事業所への説明後、本市へ過誤申し立てをお願いしています。

障害福祉サービス給付費については、報酬体系が多様化・複雑化していることから請求誤りが定例的・日常的に発生しています。給付費の過不足を精算する過誤申し立てが定例的に発生することから、事業所の手続きの簡便化やシステムを用いたチェックに努めています。

犬猫用ご飯などの 災害備蓄について



児玉 亮 議員
(大阪維新の会)

Q ふるさと納税の使途項目に動物愛護の推進を追加してもら

いましたが、ふるさと振興基金を犬猫用のご飯やトイレ等の災害備蓄に活用できませんか。

A 犬や猫などのペットは、飼育している人にとっては大切な家族であり、災害時には一緒に避難することになります。本市ではペット用の備蓄は行っており、自主防災訓練や出前講座などを通じて飼育している皆様に、ペット同行避難の心掛けやペットフード等の備蓄をお願いしているところですが、備蓄にあたっては、災害備蓄品として家族同様の犬や猫のペットフード等を備蓄していくかどうかという議論の後にどのような資金を充当するのかという議論になるため、本市としては犬猫用の



備蓄について今後の社会情勢を見て判断していきます。

市庁舎増築棟計画の規模についてなど



小南 市雄 議員
(清新会)

Q (1)DXや既存施設の活用による増築棟の規模の考えは。

A 将来的な市役所本庁舎については、DXの進展に伴い行政手続きのオンライン化や職員のテレワークが進み、窓口来庁者数や登庁職員数の減少が予想されます。更にはリモート窓口やサテライトオフィスの整備などが可能となり、従来の様な「一極集中」ではなく、市民の皆様により近い場所も含めて行政サービスを展開していくことになると考えています。このような観点から、今後整備を予定している増築棟については基本構想で示す規模が適正かどうかをしっかりと精査していく必要があります。

と考えています。

Q (2)インクルーシブ遊具等のある都市公園を増やしませんか。

A 令和4年度に北条公園等に設置しており、今後も可能な限り設置したいと考えています。

企業版ふるさと納税についてなど



中村 晴樹 議員
(大阪維新の会)

Q (1)企業版ふるさと納税は企業にとつて9割の節税効果があり、ふるさとへの恩返しができるということでの全国的に広がりを見せています。本市でも実施できませんか。

A 本制度の活用は企業との連携による新しい価値の創出や地域活力の向上につながり、民間企業から賛同・応援してもらうことは有益であると認識しています。今後、どのようなテーマで寄附を募るか等、制度導入に必要な地域再生計画策定に向け検討を進めます。

Q (2)学校プールの運営に民間活力を導入できませんか。

A 施設の老朽化等の課題から、民間プールの活用や指導者の派遣、プールの共同利用化に取り組む自治体が徐々に増えている状況です。水泳授業への民間活力の導入等については老朽化による工事改修の該当校を対象に検証を行います。

地区防災計画の作成についてなど



東 健太郎 議員
(公明党議員団)

Q (1)地区防災計画は地域コミュニティレベルの防災計画です。二丁目レベルの防災計画で、地域の特性をよく知る住民が主体となり作成するため、地域の実情に即した具体的な内容にすることができそうです。令和5年度は地区防災計画に力を入れてはどうですか。

A 本市では多くの自主防災組織が立ち上がっており、他の市町村にも類を見ない防災意識

の高い地域だと思っています。すでに地区防災計画の作成に向けた相談をしている地域もあることから、そこを皮切りに他の地区へも波及していければと思います。

Q (2)新庁舎整備を待たずに公共施設等を活用した分散型庁舎を進めることはできませんか。

A LINE機能の拡充やぴたりサービスの開始などDXを推進しており、今後でもできることから進めたいと考えています。

学校給食の2学期以降の無償化を再度求めるなど



天野 一之 議員
(日本共産党議員団)

Q (1)物価高騰の影響は引き続きあるように思いますが、2学期以降も学校給食の無償化を継続できませんか。

A 給食費の1学期無償化は物価高騰の影響を受ける保護者の経済的負担軽減を目的として

講じるものです。一方で、長期的視点で保護者の負担軽減を図る必要性について複数の自治体から国に対し意見書が提出されている状況もあります。今後、本市からも国に対して機会があるごとに学校給食費の必要財源の措置を強く要望していきます。

Q (2)小水力発電に対する本市の考えを教えてください。

A 従前より導入を検討していますが、設置条件に合致する1か所ではすでに水圧を有効利用したポンプを設置しており効果が得られません。今後設備の更新時には省エネルギー設備の導入検討等に努めます。

本市農業の展望・ビジョンについて



野上 裕子議員
(Jimin 翔政会)

Q 農業は私たちの生活にとって切り離すことのできない大切な営みです。本市における農

業の展望・ビジョンについて、市長の思いを聞かせてください。

A 立地状況から本市の農業は都市型農業に位置づけられており、生産者と消費者の距離が近い、親しみやすいというメリットから地産地消において非常に有利な環境にあると思います。このような都市型農業の利点を生かすため、現在市内の全公立小・中学校の給食に地場産野菜を活用するなど食生活の継承につながる食育や、農業体験を通して都市型農業の必要性・重要性の理解を地域に広めるなど次世代の後継者育成に力を注いでいます。関係機関との連携を強化しながら、魅力ある都市型農業の普及促進に最大限努力



していきたいと思っています。

小・中学校個室トイレへの生理用ナプキンの配置を



あらさき 美枝議員
(日本共産党議員団)

Q (1)コロナ禍で女性や子どもの貧困問題が浮き彫りになっています。人権の問題と捉え、学校の個室トイレに生理用ナプキンを設置できませんか。

A 令和3年度から市内小・中学校に生理用品を配布し、衛生面の管理や児童・生徒との会話を通じた状況把握等を目的として基本的には保健室に常備しています。貧困対策支援につながる機会としてどのような対応をしていくかを協議しながら前向きに検討したいと考えています。

Q (2)更新案内がなく精神障害者手帳の期限が切れてしまう事象を改善するため、更新の3カ月前に通知できませんか。

A 自宅以外への送付を希望する

など様々なケースがあることから現在では実施していませんが、本人の希望を確認し他市の実施方法を研究しながら通知できるよう取り組みます。

小・中学校の空調整備について



北村 哲夫議員
(Jimin 翔政会)

Q (1)小・中学校におけるエアコンの整備状況は。

A 教室等のエアコンについては令和4年度末時点で中学校5校の更新が完了し、5年度に残り3校を更新する予定です。小学校は今後4年程度をかけて順次更新予定であり、5年度当初予算に3校分を計上しています。体育館のエアコンについては5年2月に中学校4校で設置が完了し、残り4校は5年度に整備を進めます。小学校への設置は6年度以降の着手に向け準備しています。

Q (2)駅周辺整備が進んでいる野

崎駅について、路上喫煙防止区域の設定や喫煙場所設置の検討はしていますか。

Q 喫煙所の設置費用を5年度当初予算で計上しており、まずは駅東側への設置を考えています。喫煙禁止区域の設定については地域の意見も聞きながら検討・決定する予定です。

建設工事等に伴う

近隣トラブルについてなど



木田 伸幸 議員
(大阪維新の会)

Q (1)市で把握している建設工事等の近隣トラブルの内容は。

A 市への相談は騒音や振動の苦情が最も多く、具体的には建物の解体工事に伴う重機の騒音・振動や事業所・工場等の作業音、その機械等から発生する騒音などがあります。それ以外では化学工場などの製品製造過程で発生するシンナー等の異臭や、野焼きに伴う悪臭等の苦情が多くあります。

Q (2)公民連携スクールは通常の学校と比べてどのような良い影響を与えるのでしょうか。

A 多様な価値観や生き方が享受される社会の影響を受け、子どもの特性や興味、関心が多様化しています。このような潮流を受け学ぶ環境や手法など教育の選択肢を増やすものであり、ここでの学びが子どもに生きる力、ひいては将来の仕事にも良い影響を与えられることになると思います。

おくやみコーナーの設置

について



酒井 一樹 議員
(公明党議員団)

Q おくやみコーナーの設置に向けたこれまでの取組みは。

A 手続きを一元化するおくやみコーナーは行政手続きに対する不安な気持ちを支える温かな市民サービスの1つと認識しています。現状の庁舎スペースではワンストップ窓口を

設けることが物理的に困難なことから、遺族の皆様の一助になればと手続きガイドブックを作成し、配布しています。

■現状の庁舎スペースでもワンストップ窓口が実現できるようDXを活用できませんか。

■デジタル化した故人の情報を活用する手続きのオンライン化・ワンストップ化が考えられます。時間や場所によらず手続きが可能になるよう、また、来庁して手続きをする場合にもより利用しやすい窓口となるようデジタル技術の活用を進め、手続きの簡略化やスピードアップ等を図ります。

ハローライト事業の進捗状況

についてなど



杉本 美雪 議員
(公明党議員団)

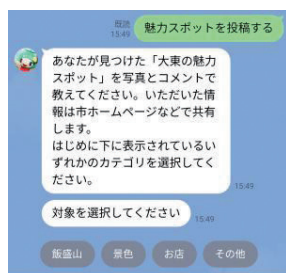
Q (1)ハローライト事業の進捗状況はどうですか。

A 高齢者のご自宅に設置したIoT電球がオン・オフの動き

により異常を検知した場合にご家族へ自動でメールを発信する機能と、ご家族に代わって訪問する機能をあわせたサービスで、令和5年4月から本格実施を予定し、360人程度の予算を計上しています。4月の広報紙やホームページを通して情報を発信するとともに、民生委員やケアマネジャーにも協力をお願いし、周知を行います。

Q (2)LINE機能の拡充により追加された魅力スポット投稿機能について教えてください。

A 公式LINEアカウントに市の魅力スポットを投稿できる機能を追加しており、投稿のあった写真やコメント等はホームページに掲載するなど発信力の強化を図ります。



市公式LINEの
魅力スポット投稿機能

一般質問の主な項目

(緑色の項目は7～10ページにその質疑の要約を掲載しています)

※掲載は発言順

- | | | |
|--|--|---|
| <p>1 中村 晴樹 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 共同親権について ● 旧里道の活用について ● 企業版ふるさと納税について ● 学校園のマスク着用について ● 学校プールについて | <p>6 野上 裕子 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● トラック運送事業者への支援について ● eスポーツ事業について ● がん防災への取組みについて ● 市営住宅のバリアフリー拡大について ● 認知症問題について | <p>11 木田 伸幸 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 問題が発生した建設工事の差止めは可能か ● 公民連携スクールが描く子どもの将来像は ● 特異な才能のある子どもを把握する方法は ● 多様性に応じた教育は現行制度では不十分か ● 公民連携スクールで社会順応性は得られるか |
| <p>2 光城 敏雄 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルスについて ● 職員の勤務時間について ● 福祉施設からの給付費等の請求について ● 小・中学生の心の相談について ● ふるさと納税について | <p>7 杉本 美雪 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者の更なる見守り事業について ● 子育て世代の居住支援について ● 人を呼び込む街づくりについて ● 大東スクールアシスタントについて ● 一時預かり事業について | <p>12 大東 真司 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 住道駅周辺における再々開発の構想は ● 美しい河川の創出について ● 下水道マンホール広告の導入について ● 若者の政治・政策参加について ● フリースクールの推進について |
| <p>3 あらさき 美枝 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本市の介護保険制度について ● 子どもの医療費窓口負担ゼロについて ● 小・中学校トイレに生理用ナプキンの配置を ● 上下水道料金の減免制度を創出してください ● 障害者控除等の認定対象について | <p>8 児玉 亮 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 職員の育児休暇取得等について ● これからの家庭教育支援について ● ふるさと納税の活用について ● 動物愛護管理担当職員の配置について ● 犬猫用ご飯等の災害備蓄について | <p>13 酒井 一樹 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 不登校対策について ● 全市公共交通について ● おくやみコーナーの設置について ● マイナバーカード普及促進事業について ● 大東市応援ギフト事業について |
| <p>4 小南 市雄 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市立図書館の運営について ● 市庁舎増築棟計画について ● マイナバーカードの保険証利用について ● インクルーシブ遊具がある都市公園の拡大を ● 環境省「脱炭素先行地域」について | <p>9 北村 哲夫 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公民連携教育について ● 緑道等植栽整備について ● 庁舎建て替えについて ● eスポーツについて ● 倫理条例について | |
| <p>5 東 健太郎 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 通学路における危険箇所改善の取組み ● 小・中学校の教室エアコンについて ● 大東市総合防災について ● 行政窓口の在り方について ● TEAM EXPO 2025への参画 | <p>10 天野 一之 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 教員の増員に対する府の動向と本市の取組み ● 教育現場から見た公民連携教育への認識は ● 解体工事による騒音・振動の苦情について ● 騒音・振動の苦情に対する測定器の貸し出し ● 太陽光パネルの設置補助等について | |



議会活動日誌

(令和4年12月定例会以降のもの R4.12.23～R5.3.24)

12月 26日 ●飯盛霊園組合議会 1月 4日 ●会派代表者会議 6日 ●議会運営委員会 ●全議員議案説明会 ●本会議 (1月特別議会) 19日 ●東大阪都市清掃施設組合議会 19日～20日 ●飯盛霊園組合議会行政視察 (福岡県福岡市) 23日 ●河北省議会議長会及び先進都市視察等研修 24日 ●特別協議会 30日 ●大東市都市計画審議会 31日 ●大東市の教育に関する特別委員会	2月 22日 ●東大阪都市清掃施設組合議会 ●大東市総合計画・総合戦略審議会 27日 ●全員協議会 ●本会議 (3月定例会議会第1日目) ●予算決算委員会 ●会派代表者会議
2月 7日 ●議会運営委員会協議会 ●会派代表者会議 ●合同委員会報告会 9日～10日 ●東部大阪治水対策促進議会協議会 ●他都市治水対策事業視察 (岡山県倉敷市) 10日 ●大阪府後期高齢者医療広域連合議会 ●大東市民生委員推薦会 13日 ●全国市議会議長会社会文教委員会 14日 ●会派代表者会議 ●大東市の行財政改革特別委員会 16日 ●大東四條畷消防組合議会 20日 ●全議員議案説明会 ●議会運営委員会 ●会派代表者会議 ●大東市の交通課題に関する特別委員会	3月 2日 ●大阪府市議会議長会総会 5日 ●本会議 (3月定例会議会第2日目) 日曜議会 ●議場講演会 6日 ●未来づくり委員会 ●予算決算委員会未来づくり分科会 (第1日目) 7日 ●予算決算委員会未来づくり分科会 (第2日目) 8日 ●会派代表者会議 9日 ●街づくり委員会 ●予算決算委員会街づくり分科会 (第1日目) 10日 ●予算決算委員会街づくり分科会 (第2日目) 13日 ●予算決算委員会街づくり分科会 (第3日目) 16日 ●大東市都市計画審議会 17日 ●会派代表者会議 20日 ●議会運営委員会 ●予算決算委員会 ●議会市民レポーター会議 22日 ●本会議 (3月定例会議会第3日目) 23日 ●本会議 (3月定例会議会第4日目) 24日 ●全議員議案説明会 ●本会議 (3月定例会議会第5日目)

付議された議案の審議結果

1 月特別議会

○賛成 ×反対

件 名		審議結果	公明党議員団				大阪維新の会				清新会		Jimin 翔政会		日本 共産党 議員団		無会派		
			東 健 太 郎	杉 本 美 雪	酒 井 一 樹	大 束 真 司	児 玉 亮	木 田 伸 幸	中 村 晴 樹	石 垣 直 紀	小 南 市 雄	品 川 大 介	水 落 康 一 郎	野 上 裕 子	北 村 哲 夫	天 野 一 之	あらさき 美枝	光 城 敏 雄	中 河 昭
4年度 補正予算	一般会計補正予算（第8次）	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○		○	○	○	○	○	○	○

3 月定例会議会

4 年度 補正 予算	一般会計補正予算（第9次）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険特別会計補正予算（第4次）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	介護保険特別会計補正予算（第3次）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第3次）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	水道事業会計補正予算（第3次）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	下水道事業会計補正予算（第1次）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
5 年度 予算	一般会計予算	修正 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	○
	国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	交通災害共済事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	火災共済事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	○	○
	後期高齢者医療保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	2 駅周辺整備事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	移管市営住宅事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
人事 案件	教育委員会委員の任命（澤田 真由美 氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	欠席
	公平委員会委員の選任（友田 千穂 氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
計画の 変更	人権行政基本方針	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	バリアフリー基本構想	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
条例の 制定	議会の個人情報の保護に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
条例の 一部 改正	消防団員の定員、任免、服務等に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	特別職非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	重度障害者の医療費の助成に関する条例等	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	○	○
	国民健康保険条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	手数料条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	市議会委員会条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○

議長のため、採決に加わらず

日曜議会・議場講演会を開催

3月5日に日曜議会を開催し、市長の施政方針に対する各会派の代表質問が行われました。また、日曜議会の休憩中に議場講演会を開催し、「この街に来て25年について語る」と題して、川村義肢株式会社 代表取締役 ^{かわむら} 川村 ^{けい} 慶さんにご講演いただきました。



こちらからも
アクセス
できます



審議の内容がもっとわかる！

本会議のライブ中継・録画中継、会議録、議会だより **大東市議会ホームページ**
（バックナンバー）など、市議会の情報が満載です。 **大東市議会** **検索**

だいとうし議会だよりに
についてのお問い合わせ
大東市議会事務局
TEL.072 - 870 - 0763

令和5年（2023年）5月1日発行 編集・発行／大東市議会

〒574-8555 大東市谷川1-1-1 TEL.072-872-2181（代）・072-870-0763（ダイヤルイン）・FAX.072-872-3820